令和８年度吉川市下水道事業会計予算（案）概要

１　業務の予定量

区　分	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
水洗化世帯数（世帯）	26,961	26,157	26,201	25,805	25,570
年間総排水量（㎥）	6,101,097	5,986,120	5,973,835	5,887,505	6,278,612
１日平均排水量（㎥）	16,715	16,400	16,367	16,130	17,202

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は R8 年３月時の見込の数値です。

主な建設改良事業　（単位：千円）

区　分	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
管渠事業	366,413	316,292	607,612	852,070	311,370
ポンプ場事業	294,844	249,928	111,901	272,118	102,546

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は当初予算の数値です。

Ｒ８年度の業務予定量は、

⑴ 水洗化世帯数は、26,961 世帯で、前年度に比べ 804 世帯（3.07%）の増加を見込んでいます。

⑵ 年間総排水量は、6,101,097 ㎥で、前年度に比べ 114,977 ㎥（1.92%）の増加を見込んでいます。

⑶ １日平均排水量は、16,715 ㎥で、前年度に比べ 315 ㎥（1.92%）の増加を見込んでいます。

⑷ 主な建設改良事業につきましては、管渠事業３億 6641 万３千円で、前年度に比べ 5012 万１千円（15.85%）増額しています。

また、ポンプ場事業は２億 9484 万４千円で、前年度に比べ 4491 万６千円（17.97%）増額しています。

２　収益的収入及び支出

(1) 収 益 的 収 入

（単位：千円）

款	項	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
下水道事業収益		1,697,696	1,646,596	1,670,122	1,577,574	1,543,100
	営業収益	991,941	935,530	943,125	933,664	914,671
	営業外収益	705,755	709,391	726,572	643,641	627,067
	特別利益	0	1,675	425	269	1,362

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は当初予算の数値です。

下水道事業収益は、前年度に比べ５110 万円（3.10%）増額となっています。

営　業　収　益・・・前年度に比べ 5641 万１千円（6.03%）増額

【下水道使用料】

下水道使用料は６億 9565 万８千円で、前年度に比べ 2215 万円（3.29%）の増額となっています。

【雨水処理負担金】

雨水処理負担金は、雨水処理に要する経費について一般会計及び松伏町が負担するもので、２億 9089 万１千円を見込んでおり、前年度に比べ 3290 万円（12.75%）増額となっています。

【受託事業収益】

受託事業費負担金は、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の経費について松伏町が負担するもの及び高久ポンプ場に接続されている国の水門の点検の経費について国が負担するもので、66 万２千円を見込んでおり、前年度と比べ６千円（0.91%）増額となっております。

【その他営業収益】

その他営業収益は、手数料及びコピー代のほか一般会計からの負担金など 473 万円を見込んでおり、前年度に比べて 135 万５千円（40.15%）の増額となっております。

営　業　外　収　益・・・前年度に比べ 363 万６千円（△0.51%）減額

営業外収益は７億 575 万５千円で、前年度に比べて 363 万６千円（△0.51%）減額となっています。これは主に、長期前受金戻入が 336 万４千円（△0.48%）減額となったためです。

特　別　利　益・・・前年度に比べ 167 万５千円（皆減）減額

特別利益は見込んでおらず、前年度に比べて 167 万５千円（皆減）減額となっております。

(2) 収 益 的 支 出

（単位：千円）

款	項	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
下水道事業費用		1,618,439	1,597,130	1,524,962	1,398,746	1,372,467
	営　業　費　用	1,520,444	1,516,033	1,433,283	1,321,410	1,292,086
	営 業 外 費 用	94,971	78,073	61,263	62,146	74,351
	特　別　損　失	24	24	30,416	15,190	6,030
	予　　備　　費	3,000	3,000	0	0	0

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は当初予算の数値です。

下水道事業費用は、前年度に比べ 2130 万９千円（1.33%）増額となっています。

営　業　費　用　・・・前年度に比べ 441 万１千円（0.29%）増額

【管渠費】

管渠費は 4760 万７千円で、前年度に比べて 1194 万３千円（33.49%）の増額となっています。これは主に、雨水幹線の除草等、雨水管渠施設の維持管理に係る委託料が 628 万９千円（22.62%）増額、汚水管渠内調査業務（TV 調査）に係る調査費が 562 万５千円（148.46%）増額となったためです。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は１億 506 万円で、前年度に比べて 512 万２千円（5.13%）の増額となっています。これは主に、ポンプ場の施設管理に係る委託料が 727 万４千円（10.55%）増額となった一方、動力費が 228 万５千円（△10.27%）減額となったためです。

【流域下水道費】

流域下水道費は２億 6534 万７千円で、前年度に比べて 2025 万４千円（△7.09%）の減額となっています。これは主に、汚水の処理場を有する県への負担金が 2087 万１千円（△7.37%）減額となったためです。

【受託事業費】

受託事業費は 41 万７千円で、前年度に比べて４千円（0.97%）の増額となっています。これは、松伏町と共同で管理している東埼玉テクノポリス調整池の維持管理の経費です。

【業務費】

業務費は 6629 万８千円で、前年度に比べて 198 万１千円（3.08%）の増額となっています。これは主に、吉川市水道事業へ委託している下水道使用料徴収業務委託料が 155 万９千円（2.72%）増額となったためです。

【総係費】

総係費は 4490 万８千円で、前年度に比べて 1326 万７千円（△22.81%）の減額となっています。これは主に、経営戦略改定の完了に伴い、委託料が 1304 万１千円（△92.51%）減額となったためです。

【減価償却費】

減価償却費は９億 9080 万７千円で、前年度に比べて 2164 万１千円(2.23%)の増額となっています。

営　業　外　費　用　・・・前年度に比べ 1689 万８千円（21.64%）増額

営業外費用は 9497 万１千円で、前年度に比べ 1689 万８千円（21.64%）増額となっています。これは、企業債利息が 1314 万円（19.97%）増額、消費税及び地方消費税が 375 万８千円（30.63%）増額となったためです。

３　資本的収入及び支出

(1) 資 本 的 収 入

（単位：千円）

款	項	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
資本的収入		923,366	741,682	931,114	949,506	667,140
	企業債	646,900	581,200	578,600	655,900	444,200
	他会計出資金	48,233	54,138	63,612	71,525	77,419
	国庫補助金	214,014	80,727	263,985	209,210	130,038
	負担金	14,219	25,617	24,917	12,871	15,480
	その他資本的収入	0	0	0	0	3

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は当初予算の数値です。

資本的収入は９億2336万６千円で、前年度に比べ１億8168万４千円(24.50%)増額となっています。

企　業　債　**・・・前年度に比べ6570万円（11.30%）増額**

（単位　千円）

項目		R8 年度	R7 年度	増減
企業債		646,900	581,200	65,700
	建設改良費等に充てるための企業債	391,900	404,700	△12,800
	流域下水道事業債	154,900	56,600	98,300
	資本費平準化債	100,100	119,900	△19,800

※資本費平準化債とは、固定資産の耐用年数と企業債の償還期間の差により生じる資金不足を解消する企業債

他会計出資金　**・・・前年度に比べ590万５千円（△10.91%）減額**

他会計出資金は4823万３千円で、前年度に比べ590万５千円（△10.91%）減額となっています。これは、総務省の基準により一般会計で負担すべき企業債償還金について計上しています。

国庫補助金　**・・・前年度に比べ１億3328万７千円（165.11%）増額**

国庫補助金は２億1401万４千円で、前年度に比べ１億3328万７千円（165.11%）増額となっています。内容としては、吉川美南駅東口における汚水管及び雨水管布設工事のほか、共保雨水ポンプ場増強実施設計業務委託料などの事業費の一部に、社会資本整備総合交付金と社会資本整備総合交付金（防災・安全）を充てるものです。

負　担　金　**・・・前年度に比べ１１３９万８千円（△44.49%）減額**

負担金は１４２１万９千円で、前年度に比べ１１３９万８千円（△44.49%）減額となっています。これは、吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業における工事費負担金が９２０万７千円（317.48%）増額となった一方で、他会計負担金が２０６０万５千円（△90.70%）減額となったためです。

(2) 資 本 的 支 出

（単位：千円）

款	項	R8 年度	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度
資本的支出		1,286,572	1,083,885	1,199,716	1,209,974	897,696
	建設改良費	838,465	642,032	753,165	766,405	455,166
	企業債償還金	448,107	441,853	446,551	443,568	442,488
	固定資産購入費	0	0	0	0	42
（補塡額）		363,206	342,203	268,602	260,468	230,556

※R4～R6 年度は決算の数値で、R7 年度及び R8 年度は当初予算の数値です。

資本的支出は１２億８６５７万２千円で、前年度に比べ２億２６８万７千円（18.70%）増額となっています。

建　設　改　良　費　**・・・前年度に比べ１億９６４３万３千円（30.60%）増額**

建設改良費は８億３８４６万５千円で、前年度に比べ１億９６４３万３千円（30.60%）の増額となっています。

（単位：千円）

項目	R8 年度	R7 年度	増減
建設改良費	838,465	642,032	196,433
管渠費	366,413	316,292	50,121
ポンプ場費	294,844	249,928	44,916
流域下水道費	154,919	56,613	98,306
業務費	22,289	19,199	3,090

【管渠費】

管渠費は３億６６４１万３千円で、前年度に比べ５０１２万１千円（15.85%）の増額となっています。これは主に、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業地内における汚水管及び雨水管の布設工事などにより工事費が５９５６万４千円（22.98%）増額となったためです。

【ポンプ場費】

ポンプ場費は２億９４８４万４千円で、前年度に比べ４４９１万６千円（17.97%）の増額となっています。これは主に、吉川中央第１調整池ポンプ場のポンプ修繕などにより修繕費が３７６４万８千円（627.99%）増額となったためです。

【流域下水道費】

流域下水道費は１億 5491 万９千円で、前年度に比べて 9830 万６千円（173.65%）の増額となっています。内容としては、埼玉県中川流域下水道建設負担金です。

【業務費】

業務費は 2228 万９千円で、前年度に比べ 309 万円（16.09%）の増額となっています。内容としては、宅地開発に伴う下水道取付管の布設工事などです。

企業債償還金・・・前年度に比べ 625 万４千円（1.42%）増額

企業債償還金は４億 4810 万７千円で、前年度に比べ 625 万４千円（1.42%）の増額となっています。

（単位：千円）

項目	R8 年度	R7 年度	増減額
建設改良費に充てる企業債償還金	348,021	344,845	3,176
流域下水道事業債償還金	43,683	45,424	△1,741
資本平準化債償還金	56,403	51,584	4,819
合計	448,107	441,853	6,254

【補塡財源】・・・前年度に比べ 2100 万３千円（6.14%）増加

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は３億 6320 万６千円で、前年度に比べ 2100 万３千円（6.14%）増加しています。

この不足額については、当年度分消費税資本的収支調整額 5310 万３千円、過年度分損益勘定留保資金２億 8252 万４千円及び減債積立金 2757 万９千円で補塡します。

４　予定支出の各項の経費の金額の流用

公営企業運営の円滑化または経済性を十分発揮させるため、各項の間において、流用禁止項目以外のもので、予算執行上必要のある場合は、流用することができる経費を、**営業費用、営業外費用、特別損失**と定めるものです。

５　議会の議決を経なければ流用することのできない経費

公営企業は、予算が機動的な経営を拘束することのないように、「目」の予算については、管理者（下水道事業にあっては、管理者の事務を行う市長）において流用することができるものとされています。ただし、**職員給与費**については、他の費目とは異なり、予算の流用を制限するものです。

６　棚卸資産購入限度額

棚卸資産として、緊急の工事に使用するマンホールの蓋を貯蔵品として保有していますが、年度内に購入する**限度額を 131 万４千円**とするものです。

７　主な事業

（１）清潔で快適な生活環境の確保

★ 水洗化率の向上

公共下水道処理区域内の未接続建物所有者に対し、接続していただくため、広報誌への記事の掲載、水洗便所改造資金の融資、水洗化促進通知を実施しています。

区　　分	R7 年度	R6 年度	R5 年度	R4 年度	R3 年度
水 洗 化 率（ % ）	97.3	97.2	97.1	97.1	96.9

※各年度末の数値。R7 年度については、R7 年９月末現在の数値。

（２）効率的な施設整備

★ 管渠建設改良事業

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業に伴う管渠布設工事

・管渠布設工事費（汚水）：３２５m

・管渠布設工事費（雨水）：３９４m

避難所などの重要施設につながる汚水管の耐震化

・耐震化詳細設計業務委託

市制施行 30 周年記念デザインマンホール整備工事

★ ポンプ場設備更新事業

ポンプ場の設備の老朽化に伴い、施設更新事業を実施します。

・吉川中央第１調整池ポンプ場№3 ポンプ修繕

・吉川中央第１調整池ポンプ場 UPS 交換修繕

・共保雨水ポンプ場増強実施設計業務委託

・公共施設照明器具 LED 化工事

・東埼玉テクノポリス排水機場更新工事

★ 設備の適正な維持管理

設備を適正に維持するとともに長寿命化を図るため、設備の維持水準や優先度を考慮し、修繕等を実施します。

・管渠内清掃業務委託

・管渠内調査業務委託

・突発的なマンホール修繕など

（3）効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される下水道を目指すためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であるため、効率的な事業運営の推進に努めます。

★事務の効率化

データの正確性、事務の効率化を推進していきます。

〇下水道使用料徴収事務委託

・下水道使用料の徴収事務を民間事業者に委託することにより、事務の効率化及び収納率の向上を図ります。

〇下水道台帳整備委託料及び資産管理台帳システム保守業務委託料

・下水道台帳の電子化により事務の効率化を図り、毎年度データの更新を行います。